



—地域保全・地域活性化部門—

京都府知事賞

## 伊根町 農村広域協定 運営委員会

伊根町



## 1歩も2歩も“先”を行く 農地保全と地域づくりの“先進地”

令和元年度に6組織で広域化がスタートしました。その後は参画組織も増え、今では全町をカバーする規模に拡大しています。広域化をきっかけに活動が広く周知され、集落間や農家・非農家の垣根を越え、一体となった活動が行われる様になり、ラジコン草刈機などを積極的に活用するなど、先を見据えた農地保全活動、地域づくりが行われています。



### 広域化で非農家の活動認知向上

広域組織設立時には、非農家も含めて説明会を行いました。この結果、制度の認知が深まり、非農家の活動参加も増えています。



### 先を見据えた維持管理体制の構築

ドローンなどの省力化機械の積極活用にとどまらず、オペレーター育成や作業賃金の安定化にも挑戦しています。



### 小学校と連携した田植え体験

田植え、稲刈り、そして親子会での餅つき、自分で植えみんな食べるお米は格別です。